



森安雅治*

革新的製造技術による製品競争力の強化

Enhancement of Product Competitiveness with the Innovative Manufacturing Technologies

Masaharu Moriyasu

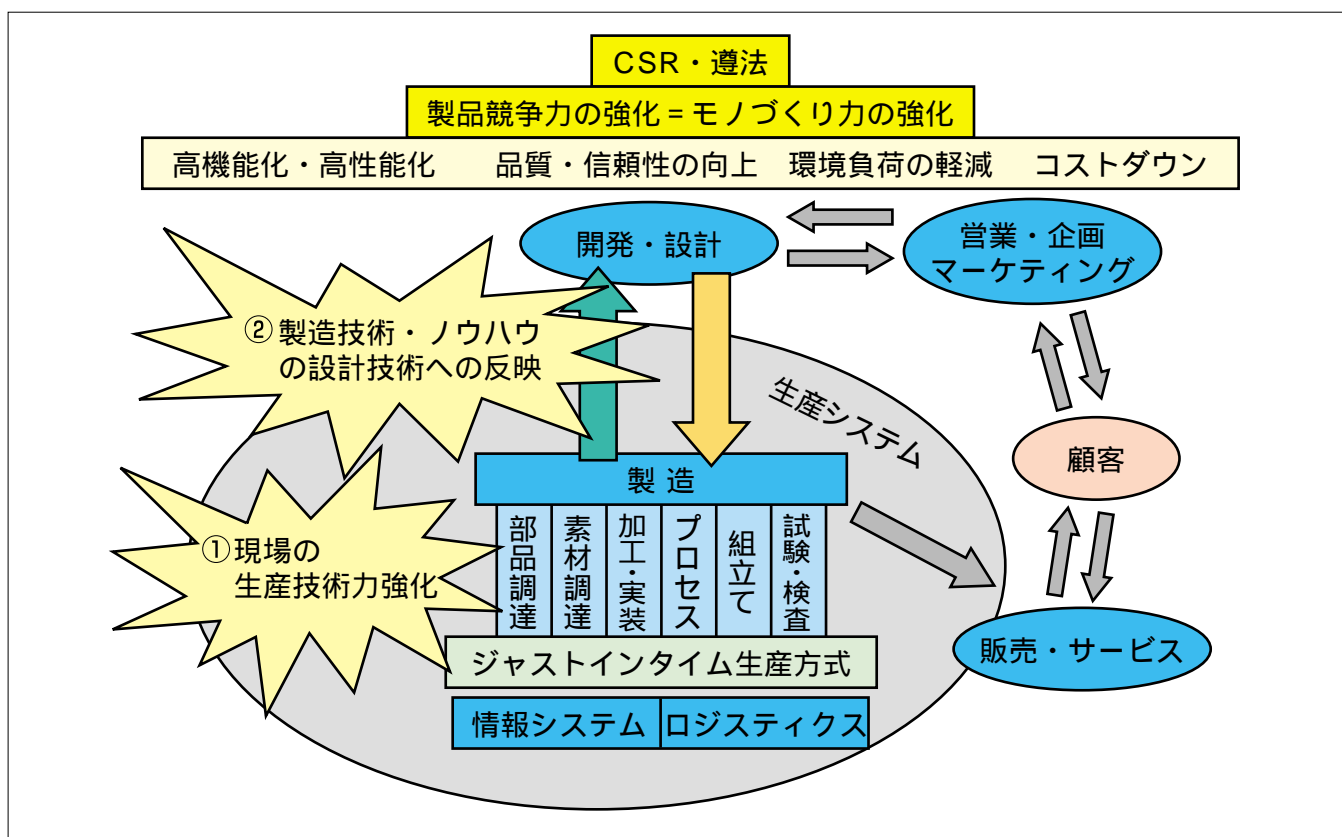
要 旨

経済のグローバル化の進展とともに厳しさを増す経営環境のもとで、かつての「モノづくり日本」の復活が叫ばれ、製造業各社が生き残りをかけて、「モノづくり」力の強化に取り組んでいる。

モノづくり力を強化するためには、現場の生産技術力の強化と、製造技術・ノウハウの構造設計への反映、の2つの取り組みが重要である。このうち、現場の生産技術力強化のためには、製造技術の高度化、ムダの排除、資材調達から製造、客先納入までの生産管理の高度化などが求められ、JIT(ジャスト・イン・タイム)活動を核にした施策が展開されている。一方、製造技術・ノウハウの構造設計への反映では、コストダウンと高品質を追求するた

めに開発された革新的な製造技術を設計にフィードバックし、商品力・競争力のより高い製品を生み出す取り組みが行われている。この取り組みでは、製造技術者が構造設計を生産技術の範疇(はんちゅう)にとらえ、設計者と連携して構造設計を行うのが、一つの理想形であると考えられる。今後の成果が期待される。

さらに、企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility: CSR)を果たすため、高い品質・信頼性と環境負荷の低減とがこれまで以上に求められており、これらすべてを視点においたモノづくり力の強化が、企業価値の増大として結実すると考えられる。



モノづくり力の強化と生産技術の位置づけ

モノづくり力の強化のためには、現場の生産技術力の強化と、製造技術・ノウハウの設計技術への反映の2つの取り組みが重要である。このうち、の核となるのは、生産システムの全工程を対象としたJIT活動である。では、製造技術者が構造設計を生産技術の範疇にとらえ、設計者と連携して製造技術を構造設計にフィードバックすることによって、競争力ある製品を創出する。